



和歌山大学

食農総合研究教育センター

～ Newsletter ～

当センターは、和歌山大学 紀伊半島価値共創基幹“Kii-Plus(キープラス)”の、一つの柱を担う組織として、食と農林水産業の分野に関わる研究活動を通じて、学術研究の発展と地域社会との連携、地域貢献機能の強化に資することを目的に令和2年度に設立されました。設立からの活動内容についてニュースレターにてご報告いたします。今年度も引き続き、理論的・実践的な研究をより推進し、その成果を地域社会に還元すべく活動していきたいと思っております。

当センターへのご理解とご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

地域課題の解決を目指した研究プロジェクトの推進

(各研究プロジェクトの代表的な事業をご紹介します)

① わかやま型 果樹産地労働力確保支援システム

農業の現場では担い手不足と労働力確保が喫緊の課題としてあげられています。本プロジェクトでは県内外の既存労働力の確保、および学生等によるワーキングホリデーや援農を含めた「労働力確保支援システム」の確立を目指し、先進地研修や県内における現状把握と現場での実地検証に取り組みました。

それらを踏まえ和歌山県やJAグループ、農家との協議を重ねた結果、労働力支援の一方策として「JAグループ和歌山農業求人サイト」を開設し、支援を行っています。引き続き検討を行い、和歌山県に適応した多様な担い手等の労働力の確保支援システムについて模索していきます。



② 「地域の6次産業化」社会実装モデル

いわでもよいよい推進事業
ローカルブランディング計画 (和歌山県岩出市)

本事業は、岩出市根来地区のブランディングの確立と「特産品開発」を最終目的とした3カ年のプロジェクトです。2年目となった昨年度は、JA紀の里や道の駅ねごろ歴史の丘、市民有志とともに道の駅などで手軽に提供できる飲食メニューの開発と市民を対象にした試食アンケートを実施しました。検討の結果、根来地区の「和」のイメージを活かし、岩出市内の老舗米菓製造業社による特製あられを使用したソフトクリームの試作品開発に取り組みました。12月に実施した試食アンケートでは食味・見た目ともに高評価を得ることができました。

今後は試作を重ね、実店舗での販売を目指します。



③ 地域主導型 果樹産地スマート農業アクションプラン策定

本プロジェクトでは、IoTセンサーと連携した「箱わな」の開発を中心に、獣害対策効率化の実証実験に取り組み、昨年度は「箱わな」に獣害がかかったことを検知し管理者に通知が届くシステムの構築等を行いました。今後、農家の見回り作業の効率化を図ると共に通信方式 LoRaWANの活用等、低コスト化も視野に入れ、研究を続けていきます。



④ 農業体験農園方式による地域農業再生モデル

平成28年度からのJAわかやまとの共同研究を通じた農業体験農園に関する社会実装型研究の一環として、令和2年度は農業体験農園の園主やJA青年部、直売所出荷農家に対して、都市農村交流の取組に関するアンケート調査を実施しました。さらに、令和3年2月には、「アフターコロナ社会に求められる都市農業の役割と農業体験農園」のテーマで、農業体験農園開設希望農家を対象に、市内実践者らの参加を得てオンラインシンポジウムを開催しました。



① 食と農のこれからを考える (JAわかやま 寄付講義)

学内外から「食と農」に関わりの深い講師をお招きして、現場の「ナマの声」を聞くことのできる講義となっています。全学部生を対象としており、学内から300人を超える受講者(希望者)があるとともに、社会人や高校生なども受講している人気講義となっています。令和3年度も10月から開講致します。皆さんも是非、受講をご検討ください。



② 地域づくりの理論と実践 (公益財団法人 江頭ホスピタリティ 事業振興財団 寄付講義)

和歌山県が全国に誇る総合型グリーン・ツーリズム拠点「秋津野ガルテン(田辺市)」を会場に、学生・農業者・地域づくり実践者・行政関係者・研究者が一堂に会して、農業・農村の再生に求められる理論や実践を様々な視角から学ぶという多世代交流型の学びの場を提供しています。社会に出た卒業生にとっての「学び直し(リカレント教育)」の機会としての役割も注目されています。



③ 食農学 (教養の森「連携展開科目」)

経済成長に伴う食料供給の国際化や食生活の変化(中食・外食への依存)など、現代社会において切り離されてきた「食」と「農」との関係性について、グローバルな視点で解説します。4学部の学生が、講義参加を通じて自身の専門分野と現代社会との接点に目覚める機会にもなっています。



information

- * 当センターと共同研究や寄付講義等の機会を通じ連携を深めているJAわかやまのご厚意でコロナ禍にあり修学に不安を抱えている学生に対し、特別栽培米1.6トン(5kg×320袋)の寄贈がありました。心より感謝申し上げます。
- * 食農共同実践推進協議会を、令和3年2月17日(水)にオンラインにて開催しました。



<編集・発行>

和歌山大学 紀伊半島価値共創基幹 “Kii-Plus”
食農総合研究教育センター

〒640-8510 和歌山市栄谷930

和歌山大学 東3号館1階

TEL : 073-457-7126

URL : <https://www.wakayama-u.ac.jp/food-agri/>



国立大学法人

和歌山大学

wakayama
univ.